

2017年度に開催した 地方自治体とのリスクコミュニケーション

食品安全委員会は毎年度、地方自治体との共催で、食品の安全性に関するリスクコミュニケーションを行っています。その内容は、まず、テーマについて食品安全委員会事務局より情報提供を行い、その後、参加者がグループに分かれてテーマについて話し合います。最後に、グループごとに発表を行った上で参加者との意見交換を行っています。会議の詳細な資料等についてはホームページに掲載していますので、ご覧ください。また、地方自治体の関係者で関心のある方は、ご相談ください。

表 2017年度に地方自治体と共催した意見交換会の実績

| 開催日 | 共催自治体 | 主な対象者 | 主なテーマ |
|-------------|-------|-------------------|-----------|
| 2017年 8月7日 | 大阪府 | 栄養教諭、養護教諭 | 食品添加物 |
| 8月9日 | 岡崎市 | 栄養教諭、保育園栄養士 | 食品添加物 |
| 8月21日 | 東京都 | 栄養教諭、栄養士 | 食品全般 |
| 8月25日 | 広島市 | 家庭科教諭、栄養教諭、栄養士 | カンピロバクター |
| 10月30日 | 熊本県 | 家庭科教諭、養護教諭、保育園栄養士 | 食品の安全の考え方 |
| 11月20日 | 兵庫県 | 栄養教諭 | 食品添加物 |
| 2018年 1月19日 | 岡山県 | 栄養教諭、保育園栄養士、学生 | 農薬 |



講座の様子（兵庫県）



講座の様子（岡山県）



グループワークの様子（東京都）



会議資料詳細 http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki.html

日本毒性病理学会と共催の市民講座「食を考える！」

食品安全委員会では、日本毒性病理学会との共催で、1月26日、沖縄において市民公開講座「食を考える！」を開催しました。徳島大学先端酵素学研究所特任教授の木戸博先生より当委員会から委託した研究内容も含めた食物アレルギーについて、当委員会の吉田緑委員よりカフェインについて講演がありました。参加された方は熱心に耳を傾けてくださり、「食物アレルギーの原因を医学的に聞けたのでよかった」「サプリメントにもカフェインが多く含まれていることや、妊娠中のカフェイン摂取量の目安が示されていること等初めて知った」「カフェインの摂取量に気をつけたい」等、多くのご感想をいただきました。



講演の様子（吉田委員）



学会共催意見交換会
「市民公開講座 食を考える！」 <http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20180126ik1>